

## shiwase2021 報告

主任 渡部博志



shiwase 2021 案内画像より▲

世界幸福デー（3月20日）にあわせて開催される shiwase シンポジウム。慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科ウェルビーイングリサーチラボと武蔵野大学しあわせ研究所との共同開催も今年で3年目を迎えました。昨年は、新型コロナウイルスの感染が拡大する中で急遽オンラインイベントに変更して開催しましたが、今年は当初よりオンラインイベントをベースにすることで企画が進みました。

今回は「shiwase2021—ウェルビーイングってなんだろう？」というテーマで、初の2日間開催。学会発表とワークショップ出展は企画段階から全面オンラインで準備が進み、物理的な空間の制約から解放されたことで、全141コンテンツとこれまでにない数となり、基調講演への参加申込者も最終的に2,255名となる大規模イベントとなりました。

開催日の3月20日・21日は、東京都は緊急事態宣言下にあったこともあり、全てのイベントがオンラインで開催されました。

オープニングは、しあわせ研究所所長でもある西本学長と、慶應義塾大学の前野隆司先生の共同実幸委員長による対談。その後、ハーバード大学で「ポジティブ心理学とリーダーシップ」の授業を担当したタル・ベン・シャハー氏の講演では、同時通訳を交えたYouTube Liveでのリアルタイム配信を行い、同時視聴者が700名を超えました。続いて、株式会社アカツキの前社長で本学客員教授でもある塩田元規氏と西本学長、前野先生による鼎談が行われ、3月20日の午前だけで動画視聴は2,700を超えました。

しあわせ研究所からは、《Musashino SDGs Award から「世界のしあわせをカタチに」しよう！》というタイトルで3月20日の午後に出展しました。SDGsを自分事化し、身近な社会環境問題の改善に貢献する取り組みとして先日選考が行われた、第3回 Musashino SDGs Award 受賞団体による活動報告を行いました\*。和歌山大学教授でもある、しあわせ研究所の加藤教授の司会で、今年度の受賞団体による4つの取り組みの発表と質疑応答を行い、約30名の参加者と共に、「世界のしあわせ」について考える場となりました。

\*第3回 Musashino SDGs Award 受賞団体の取り組み概要は以下のURLからぜひご確認ください。

<https://www.musashino-u.ac.jp/news/20210315-05.html>